



まる新聞 まる新聞

174号 2025年4月2日 発行＝村田みけこ

「上関原発も中間貯蔵施設も建てさせない」大集会にしませんか

田布施町議選で建設反対派が過半数

みけこ さて、田布施とか柳井とか分かんないよ、という読者は**右の地図**を見てください
くみこ 先に、田布施町がどんなところかおさらいしましょ。上関町の西北に位置し、人口は約1万3500人。岸信介、佐藤栄作の二人の総理大臣が輩出しています。住民はみな岸派か佐藤派のどちらかで政治的に動いてきた保守王国です。現在も参院議員、衆院議員の二人の国会議員がいます。衆院議員は岸信介の曾孫ですね。昨年10月の衆院選山口2区で立憲民主党の脱原発派候補に1724票の僅差で辛勝しました。ちなみにですが、負けて比例復活した立民議員は朝日新聞にこう語っています。「選挙に負けたら、私を応援した方は地域で村八分のような感じになってしまう。山口で自民に刃向かって選挙をするのは怖いことだ」

みけこ 町議選は、今年2月2日投開票。定数12のうち中間貯蔵施設反対の議員は、改選前は4人しかいませんでした。ところが蓋を開けてみると、過半数ギリギリの6人の反対派が立候補、全員が上位当選しました

くみこ 集会で報告した小中進町議は田布施出身で、原発反対運動の前線に立ってきた人です。過去に県会議員を1期務めました。田布施町議選では、施設は反対だけど「立候補できない」人が相次ぎ、候補擁立に苦戦したと言います。というか、6人目が決まらずミイラ取りがミイラになって立候補しました

みけこ それでも町議就任後早速、「中間貯蔵施設建設計画への反対決議案」を議会に提出。3月21日の議会で賛成6、反対5で可

上関原発を建てさせない山口大集会が3月22日、山口市で開かれました。参加者は約800人(主催者発表)。2014年に始まり、コロナによる中断を挟んでも続けられる集会の意義は非常に大きいです。私は今年、田布施(たぶせ)町議選の報告に快哉し、また、中間貯蔵

施設の賛否アンケートをした柳井市民の取り組みに多くを学びました。が、疑問も残っています。集会名は「上関原発を建てさせない」のままでいいのでしょうか**＝右の写真はチラシ**。時代は「中間貯蔵施設を建てさせない」に変わっています。(くみこ)

決されました。反対決議は県内初です

くみこ 上関町が建設を願っても、反対する市町が増えれば、知事は建設を擁護しづらくなります。今年12月には柳井市議選、来春には知事選が控えています。正念場です
柳井で「反対」が72%、「賛成」は4%

みけこ 「中間貯蔵施設計画に関する要望書」を23年と24年の2回にわたり県知事と柳井市長に出した井上重久さんは、予定地から20km圏内の柳井市平郡島(へいぐんとう)に住んでいます。島民は200人。ミカン畑から予定地対岸の祝島が見え、転じれば30数km先の愛媛・伊方原発も見えます

くみこ 23年の要望書で平郡島の自治会長らと井上さんは、こう訴えました。「人口2000人の上関町の地域代表の意向により、周辺市町の3万人以上に甚大なりリスクがもたらされるのは公正ではない」。福島と同等の災害が起これば20km圏内の住民は自宅を追われます。そんな重要なことを隣町の10人で決めてほしくないというのはもっともです

みけこ が、24年の要望書はさらに強力です
くみこ 人口2万9000人弱の柳井市全域の自治会に「連名で要望書を出そう」という提案は叶いませんでした。全10地区308自治会のうち、9地区161自治会が半年かけて自治会員の意向アンケートを実施しました。民意を可視化し、周辺4首長が共同で知事に反対の申し入れをするよう促したのです
みけこ アンケートの回答方法は、中間貯蔵施設計画に「反対」「賛成」「よく分からない・白票」の三択です

くみこ 結果、総回答数3991件(≒世帯)のうち「反対」が72%、「賛成」が4%、「よく分から



集会運営に尽力してくださった方々に感謝です(みけこ)



ない・白票」が24%でした。そのほかに「無記入・無回答」が1348世帯ありました

みけこ 要望書には、24年春に田布施町と周防大島町で市民団体が実施したシール投票の結果も添えられています。周辺2市3町の415人が投票し、「反対」76%、「賛成」4%、「分からない・棄権」20%、という結果を得ました。奇しくも柳井市と同じ傾向です

くみこ 私はこの要望書を読むまで、柳井市民はほとんどが原発(関連施設)に賛成なのだと思っていました。脱原発裁判の傍聴を通して県東部の知人が増えましたが、柳井の知人はいません。でも、「反対」は表に出ていただけなんだ、と分かりました。自治会アンケートで「反対」を示した人は人口の約1割に過ぎませんが、「賛成」を示した人はさらにその20分の1に過ぎません。柳井市議会が今後民意を映していくのか。興味深いです
シール投票は民意を可視化できる

みけこ アンケート結果も目を見張るけど、井上さんたちの調査手法も技ありだなあ、と感心しました。次の4点、実に合理的です

くみこ ①公と民の間の存在である自治会を使ったことがスゴイ。田舎だからできることかもしれないけれど

②シール投票がスゴイ。田布施と周防大島では、人の集まるスーパーや役場前で通行人に、「賛成」「反対」「その他」を示す赤や青やらのシールをプレートに貼ってもらった

そうです。テレビのバラエティー番組で見かける方法ですね。色に注目すれば「賛成」「反対」の傾向が一目瞭然

③「要望書」を選んだのがスゴイ。署名よりも住民の思いが伝わるし、請願、陳情書よりも簡単に出来るそうです

④「ターゲットは知事、県会議長。電力会社じゃない」という見極めがスゴイ。中間貯蔵施設の建設決定権は知事にある。我々が知事に、民意を武器として、あるいは、民意を餌として与えられれば、知事も「反対」になびきやすいですね

中間貯蔵施設計画を止める目的を明確に

みけこ こうして振り返ると、「上関原発を建てさせない山口大集会」という名称は、10年前にはストレートに集会の目的を伝えていたように思えます。原発は賛成したけど中間貯蔵は反対の人や、計画について一から知りたい人を、呼び込める名称に更新できないでしょうか

くみこ なぜ中間貯蔵施設計画に反対するのか。何も手伝ってこなかった私が言うのは口幅ったいけれど、ひとりでも多くの方が準備段階から口も手も出して、知識も議論も深めていける集会が続くよう願っています

署名にご協力を(上関の自然を守る会など5団体)インターネットで「change.org 上関中間貯蔵計画」と検索したら署名ページが出てきます

